

令和7(2025)年度通常総会開催にあたって

公益社団法人茨城県看護協会 会長 白川 洋子

私たちを取り巻く環境の変化は、加速しているように見えます。自然のみならず、暮らしや経済等も目まぐるしい変化を続けています。「大阪万博 2025」が開催され、世界の英知に目を向ける眼差しの先に、私たちはどんな未来を創造していけるのでしょうか。とは言っても、私たちは今を生きる存在として、他者のいのちに気を配り、生命兆候を観察し、時には切迫しながらも絶やさぬケアを得意とする専門職集団です。

さて、今までにも増して看護職の人材確保に拍車が掛っていますが、看護職不足は以前から慢性的に進んでおり、看護学校や大学等が増えても解決されないままに至っています。需要と供給のバランスや、人々の受療行動、一般市民への健康教育、そして高度臨床実践家の育成等、上げれば枚挙に暇ないほどの要因が重なり、今に至っております。しかし、多くの看護職は誇りをもって看護に取り組んでいます。身近な同僚や後輩、そして諸先輩の看護の姿を、時には臉に浮かべて思い出しては如何でしょうか。近代看護の祖であるナイチンゲールは、私たちの隣にいます。看護の価値を上げましょう。

看護の価値とは何か、看護という行為はすぐに目の前から消えますが、人々の記憶に残り、エネルギーを与えてくれます。どのような看護が患者の回復力を引き出すのか、私たち看護職は経験知を蓄えています。そして、優秀な実践家は他者の記憶に残り続けています。従って私たちは看護を伝える方法を会得する必要があります。

そこで、茨城県看護協会では例年「看護研究学会」を開催しています。キャリアの少ない看護職の参加が多いことが特徴です。これは初心者への教育に力を入れている様々な医療機関や施設等の表れとも言えます。実際には、どのようなケースを担当し、どのような看護を提供しているかが分かり、多くの看護実践を知ることができます。そこで互いの意見を交わしながら他者からの評価と自己評価をする経験をします。このプロセスを辿りながら成長していきます。このような経験を通して、看護職それぞれの自信につながることが推察されます。

茨城県看護協会は、それぞれの看護職の「初めの一步」を大事にし、「看護にこだわり続けられる看護職」の育成に、より一層取り組んでいく所存でございます。

CONTENTS

- 令和7年度茨城県看護協会通常総会プログラムP2
- 令和7年度茨城県看護協会名誉会員の推薦(案)についてP2
- 令和6年度決算報告(案)及び監査報告P2
- 令和7年度改選役員及び推薦委員の選任P2
- 令和8年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員の選任P3
- 公益法人制度改革に伴う定款改正(案)についてP3
- 令和6年度事業報告P3
- 令和7年度重点事業並びに事業計画P3
- 令和7年度収支予算P12
- 令和7年度日本看護協会会長表彰者P16
- 令和7年度優良看護職員茨城県知事表彰者P16
- 令和7年度優良看護職員茨城県看護協会会長表彰者P16

会員数 (令和7年3月31日現在)

合計	15,657名
保健師	329名
助産師	571名
看護師	13,937名
准看護師	820名

令和 7 (2025) 年度茨城県看護協会通常総会プログラム

- 日 時 令和 7 年 6 月 20 日 (金) 13:00~16:15 ※12:30 開場
- 場 所 ザ・ヒロサワ・シティ会館・大ホール (茨城県立県民文化センター)
- プログラム 13:00 開会
物故会員への黙とう
会長あいさつ
来賓祝辞
祝電披露
優良看護職員表彰・茨城県看護協会会長表彰

<休憩>

- 14:00 開会宣言
議長団選出
議事録署名人の決定
議決事項
第一号議案 令和7年度茨城県看護協会 名誉会員の推薦(案)について
第二号議案 令和6年度決算報告(案)及び監査報告
第三号議案 令和7年度改選役員及び推薦委員の選任
第四号議案 令和8年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選任
第五号議案 公益法人制度改正に伴う定款改正(案)について
報告事項
報告事項1 令和6年度事業報告
報告事項2 令和7年度重点事業並びに事業計画
報告事項3 令和7年度収支予算
次年度選挙管理委員の任命
新役員紹介・推薦委員の紹介
退任役員への花束贈呈
退任役員挨拶
- 16:15 閉会

第一号議案 令和 7 年度茨城県看護協会 名誉会員の推薦 (案) について

看護事業の発展に顕著な功績があり、協会活動に貢献された次の 3 名の方を本会の名誉会員に推薦したい。

- 山本 かほる 氏 (元茨城県看護協会専務理事)
- 青山 千代子 氏 (元茨城県看護協会常任理事)
- 太布 和子 氏 (元茨城県看護協会専務理事)

第二号議案 令和 6 年度決算報告 (案) 及び監査報告

令和 6 年度決算報告(案)及び監査報告の内容は、通常総会出席者に総会資料として当日配布いたします。
なお、令和 6 年度決算報告につきましては、通常総会后、茨城県看護協会ホームページにて掲載いたします。

第三号議案 令和 7 年度改選役員及び推薦委員の選任

○会長候補者 (定数 1 名) 改選 (1 名)

役 職 名	氏 名	所 属
会 長 候 補 者	中 島 貞 子 新	茨城県看護協会

○副会長候補者 (定数 2 名) 改選 (1 名)

役 職 名	氏 名	所 属
副 会 長 候 補 者	森 陽 子 再	下妻市社会福祉協議会

○専務理事候補者 (定数 1 名) 改選 (1 名)

役 職 名	氏 名	所 属
専 務 理 事 候 補 者	長 山 一 恵 新	茨城県看護協会

○常任理事候補者 (定数 2 名) 改選 (1 名)

役 職 名	氏 名	所 属
常 任 理 事 候 補 者	矢 澤 香 代 子 新	前土浦看護専門学校

○職能担当理事 (定数 3 名) 改選 (1 名)

役職名	氏名	所 属
保健師職能担当理事	光 畑 桂 子 再	筑波メディカルセンター つくば総合健診センター

○地区担当理事 (定数 9 名) 改選 (5 名)

役職名	氏名	所 属
常陸太田・ひたちなか地区担当理事	三本松 まゆみ 再	ひたちなか総合病院
土浦地区担当理事	宮本 佳代子 再	総合病院土浦協同病院
つくば地区担当理事	篠崎 まゆみ 新	筑波大学附属病院
筑西・下妻地区担当理事	富加見 美智子 新	大圃病院
古河・坂東地区理事	飯塚 真弓 新	茨城西南医療センター病院

○准看護師理事候補者 (定数 1 名) 改選 (1 名)

役職名	氏名	所 属
准看護師理事候補者	藤本 恵美子	牛久愛和総合病院

○推薦委員 (定数 9 名) 改選 (9 名)

役職名	氏名	所 属
推薦委員	深澤 千映子	茨城県厚生連 看護統轄管理部
推薦委員	久郷 香子	総合守谷第一病院
推薦委員	大金 弘子	ひたち医療センター
推薦委員	大和田 万裕美	ひたちなか総合病院
推薦委員	須之内 恵美	神栖済生会病院
推薦委員	山田 幸子	つくば市保健部健康増進課
推薦委員	柳橋 貴子	総合病院土浦協同病院
推薦委員	堺堀 典子	潮来保健所
推薦委員	野本 麻里	ホスピタル坂東

第四号議案 令和 8 年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員候補者名簿

■代議員 16 名・予備代議員 16 名

区 分	代 議 員 氏 名	予 備 代 議 員 氏 名
保健師代表	光 畑 桂 子	加 瀬 林 和 恵
助産師代表	齋 藤 悦 代	齋 洋 子
看護師Ⅰ代表	檜 山 千 景	佐 藤 智 恵
看護師Ⅱ代表	玉 主 祥 子	大 部 は る み
准看護師代表	藤 本 恵 美 子	中 園 美 佐 子
理事	沼 尻 信 子	森 陽 子
理事	長 山 一 恵	飯 塚 真 弓
理事	橋 本 泉	寺 田 直 子
理事	矢 澤 香 代 子	川 並 和 恵
地区代表	和 田 俊 彦	山 崎 理 香
地区代表	三 本 松 ま ゆ み	吉 成 有 香
地区代表	中 島 道 子	平 山 な つ き
地区代表	宮 本 佳 代 子	須 加 野 幸 恵
地区代表	篠 崎 ま ゆ み	飯 田 育 子
地区代表	桑 田 今日 子	増 田 由 紀 子
地区代表	富 加 見 美 智 子	國 田 隆 行

第五号議案 公益法人制度改革に伴う定款改正(案)について

公益法人制度改革に伴う定款改正(案)についての内容は、通常総会出席者に総会資料として当日配布いたします。
 なお、通常総会后、茨城県看護協会ホームページにて掲載いたします。

報告事項1 令和6年度事業報告

令和6年度事業報告の内容は、通常総会出席者に総会資料として当日配布いたします。
なお、令和6年度事業報告につきましては、通常総会后、茨城県看護協会ホームページにて掲載いたします。

報告事項2 令和7年度重点事業並びに事業計画

高齢者人口がピークになるとされる「2040年問題」に象徴される本格的な「少子高齢化・人口減少時代」を迎えようとする中、地球温暖化も関係するとされる集中豪雨など大規模災害の増加や、新興感染症の流行への対応など新たな課題にも留意しつつ、質の高い医療・介護を効果的、持続的に提供する体制の構築を確実に進めていく必要があります。

茨城県では、2024年度から2029年度までを計画期間とした第8次保健医療計画を策定し、「安定して医療を受けるための医療人材の確保」、「行政、県民、医療機関等の協働による医療環境の向上」、「予防医学の推進による生涯にわたる健康づくりの推進」、「少子化・高齢化への対応と誰もが安心して暮らせる環境づくり」の4つの重点化の視点を設定し、各項目の施策の展開や推進にあたって横断的かつ重点的に対応することとしています。

本会では、これらの時代状況や県の保健医療計画に基づく施策の展開等を踏まえながら、4つの重点政策とその実現のための4つの重点事業を設定し、具体的には、質の高いジェネラリストナースの育成や認定看護管理者教育の充実、タスクシフト・タスク/シェアの推進とそれに不可欠な看護補助者の育成や特定行為研修修了者の活動促進、ナースセンター相談体制の充実、地域住民の健康支援や在宅医療を担う人材の育成・活用等の事業とともに、災害・パンデミック等に対する支援体制の強化、施設訪問や広報活動強化による会員の確保・定着のための取り組みも積極的に進めます。

また、引き続き、県、市町村、日本看護協会、医療機関や関係団体等と連携を図りながら、看護職の皆様に主体的にご参画いただき、効率的、効果的な事業を行うよう努めます。

■ 重点政策

- 1 専門職としてのキャリア継続の支援と生涯学習の推進
- 2 看護職の働き方改革の推進
- 3 地域における看護提供体制の強化
- 4 組織基盤の強化

■ 重点事業

1 専門職としてのキャリア継続の支援と生涯学習の推進

- 1) 質の高いジェネラリストナースの育成とキャリア発達を促進する教育の充実
 - (1)教育研修によりあらゆる分野で活動する看護職の実践力の向上を図り、看護職のキャリア成熟（関心性、自律性、計画性）や生涯学習（継続的専門能力支援）につながる支援をする。
- 2) 質の高い看護実践を推進する認定看護管理者教育の充実
 - (1)ファースト・セカンド・サードレベル3教育課程の開催
 - (2)看護管理実践後のフォローアップ研修
 - (3)新たな認定看護管理者制度及び認定看護管理者に求められる能力に基づいた各課程のカリキュラムの策定
- 3) 特定行為研修修了者のビジョンの明確化と活躍の推進
 - (1)特定行為研修修了者の働き方や役割、院内の体制整備に関する研修や研修修了者のスキルアップ研修の開催（オンデマンド配信も実施）

2 看護職の働き方改革の推進

- 1) 働き続けられる職場環境の実現に向けた支援
 - (1)健康で安全な職場（ヘルシーワークプレイス）推進の研修及び情報提供
 - (2)定着促進コーディネーターの活用推進
- 2) タスクシフト・タスク/シェアの推進
 - (1)管理者等研修における看護職のタスクシフト・タスク/シェア研修
 - (2)看護補助業務の周知
 - ①ハローワークとの連携
 - (3)看護補助者研修
 - ①日本看護協会からのJNA収録研修（「看護補助体制充実加算」対応研修）
 - ②200床以下の施設対象への「看護補助者の質の向上」研修
 - ③看護補助者の体験講習会及びリーフレット配布（ハローワーク協働）
- 3) 地域における看護職の就業及び復職支援
 - (1)ナースセンター相談体制の充実（県内5か所）
 - ①求人施設訪問によるマッチング強化
 - ②職業紹介責任者講習による相談員質の向上
 - ③地域に必要な看護職確保推進による就業相談員の派遣協力（市町村主催の看護職合同進学就職説明会への参加協力）

- ④ NuPS の利用周知
- (2)人生100年時代のキャリアプラン支援
 - ①45歳以上の看護職を対象としたセカンドキャリア研修
- (3)潜在看護師の就業支援
 - ①未就業看護職への復職支援・相談
- (4)将来の看護職確保に向けた取り組み
 - ①外部関係団体との協働による看護職魅力発信イベントの出展（産業祭等）
 - ②高校生の一日看護体験

3 地域における看護提供体制の強化

- 1) 地域住民の健康を支えることへの支援（まちの保健室の新たな展開）
 - (1)ウィメンズヘルスカフェの推進
 - ・市町村での開催支援
（思春期・妊娠期・子育て期・更年期・老年期等、さまざまなライフステージに合わせての看護職からの助言、語り場の提供）
 - 2) 在宅医療を担う人材の確保・育成・活躍促進
 - (1)訪問看護支援事業の継続と活用
 - ・訪問看護総合支援センター設置に向けての検討
 - ・訪問看護ステーション管理者間の交流の場の提供
 - (2)専門家活用の推進（政策要望・広報活動）
 - (3)地域における健康と療養を支える看看連携の推進
- 3) 産業領域におけるエビデンスに基づく保健師等の活躍促進に向けての取り組み

4 組織基盤の強化

- 1) 看護政策を推進するための組織基盤の強化
 - (1)地区活動の充実及び連携強化、職能間の連携強化
 - (2)医療関連団体等との看護政策に係る連携強化
 - (3)地区会員のネットワークづくりを推進・強化
- 2) 会員の確保・定着（入会率50%以上の獲得）
 - (1)会員不在施設及び、会員数減少施設への訪問（本会への要望・自施設課題の共有）
 - (2)会員福利厚生サービスの充実
 - (3)広報活動の強化
 - ① 公式ウェブサイト及びSNS等の充実（会員へのウェブサイト活用方法の周知、活用推進・ウェブサイトの掲載内容をより充実、地区活動、看護の新情報等のタイムリーに発信）
 - ② 賛助会員との意見交換会の開催（各種イベント等への出展、参画、協賛）
- 3) 災害・パンデミック等に対する支援体制の強化
 - (1)協会事業継続計画（BCP）の適切な運用と活用
 - (2)日本看護協会及び茨城県「災害時の医療救護活動についての協定」の締結に沿った実動性のある活動に向けた連携強化

【令和7年度事業計画】

当協会は、公益社団法人日本看護協会との連携のもと、公衆衛生の向上を目的とする公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための事業等を、以下のとおり実施する。

- 事業計画は、定款第4条に掲げる6つの事業を掲載
 - 1 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業
 - 2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
 - 3 看護業務の調査研究及び情報収集並びに制度の改善への提言に関する事業
 - 4 健康相談、情報提供等による地域住民の健康と福祉に関する事業
 - 5 地域ケアサービスを実施する訪問看護ステーション等の設置及び運営
 - 6 その他本会の目的を達成するために必要な事業

※事業内容の【重】は重点事業、【新】は新規事業

1 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）

【67,968千円】

事業内容		予算(千円)
1) 新人看護教育に関する事業		5,582
(1)新人看護職員卒後臨床研修		5,582
①新人看護職員研修		
a) 多施設合同研修	・7研修延べ8日間	1,030名
b) 多施設合同研修（新人助産師）	・1研修5日間1回	30名

事業内容			予算(千円)
c) 新人看護職員研修責任者研修	・1 研修 3 日間 1 回	30 名	
d) 教育担当者・実地指導者研修	・2 研修 7 日間 1 回	140 名	
2) 継続教育に関する事業			34,508
(1) 継続教育研修			9,502
① 新入看護職員研修	・1 研修 1 日間 1 回	300 名	35
② 看護実務専門研修			3,175
a) 感染看護(基礎編)	・1 研修 2 日間 2 回	170 名	
b) 感染管理(実践編)	・1 研修 2 日間 1 回	100 名	
c) 皮膚・排泄ケア	・1 研修 4 日間 1 回	100 名	
d) ストーマケア	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
③ 教育委員会企画研修			4,479
a) 看護研究			
・ケーススタディ	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
・看護研究Ⅰ	・1 研修 1 日間 1 回	50 名	
・看護研究Ⅱ	・1 研修 2 日間 1 回	50 名	
・看護研究Ⅲ	・1 研修 4 日間 1 回	8 組 16 名	
・看護研究Ⅳ	・1 研修 4 日間 1 回	8 組 16 名	
b) 摂食嚥下	・1 研修 2 日間 1 回	72 名	
c) ACP	・1 研修 1 日間 1 回	50 名	
d) 意思決定支援	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
e) 救急看護	・2 研修 1 日間 1 回	200 名	
f) トラブル対応法	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
g) 慢性疾患看護	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
h) がん看護	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
i) メンタルヘルス	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
j) 看取りの看護	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
k) 看護師と法	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
l) 多職種連携	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
m) 人間学	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
n) 論理的なレポート・論文の書き方	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
o) 看護記録	・2 研修 1 日間 1 回	200 名	
④ ブラッシュアップ教育研修			1,724
a) 高齢者のエンド・オブ・ライフを支える 包括的研修(ELNEC-J)	・1 研修 2 日間 1 回	42 名	
b) 教育(看護)ファシリテーション研修	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
c) 看護職のためのリーダーシップ研修	・1 研修 1 日間 1 回	80 名	
d) 看護倫理・理論・ケアリング			
e) 特定行為研修修了者研修 (スキルアップ研修)【重1-3】	・1 研修 1 日間 1 回	30 名	
特定行為研修修了者研修(看護管理者研修)	・1 研修 1 日間 1 回	30 名	
f) ポケットエコー講座	・2 研修 1 日間 2 回	32 名	
g) 身体拘束【新】	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
h) プラチナナース研修【新】	・1 研修 1 日間 1 回	100 名	
i) 訪問看護連携研修	・1 研修 6 日間 (うち実習 2 日間) 1 回	30 名	
j) 2025 年度ジェネラリスト育成プログラム 【重1-1】	・8 研修 9 日間 1 回	25 名	89
k) VOD(オンデマンド)セット配信	・15 研修	500 名	
(2) 資格認定教育研修【重1-2】			15,054
① ファーストレベル研修	・1 研修 22 日間 1 回	70 名	5,248
② セカンドレベル研修	・1 研修 36 日間 1 回	30 名	5,155
③ サードレベル研修	・1 研修 36 日間 1 回	30 名	4,275
④ 認定看護管理者フォローアップ研修			376
a) ファーストレベル	・1 研修 1 日間 1 回	78 名	
b) セカンドレベル	・1 研修 1 日間 1 回	31 名	
c) サードレベル	・1 研修 1 日間 1 回	16 名	
(3) その他資格研修			9,952
① 看護指導者研修			6,249
・実習指導者講習会	・1 研修 17 日間 1 回	70 名	
・実習指導者講習会(特定分野)	・1 研修 7 日間 1 回	30 名	
	・運営部会		
② 茨城県看護職員認知症対応力向上研修			
a) 茨城県看護職員認知症対応力向上研修	・1 研修 3 日間 1 回	150 名	1,284
b) 茨城県看護職員等認知症対応力向上研修(施設等)	・1 研修 1 日間 2 回	200 名	495
③ 認知症高齢者の看護実践に必要な知識	・1 研修 2 日間 1 回	50 名	138
④ 精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会	・1 研修 3.5 日間 1 回	50 名	
⑤ 医療安全管理者養成研修	・1 研修 1 日間 1 回	50 名	219
⑥ 災害支援ナース養成研修	・1 研修 6 日間 2 回 (ワグメント研修 4 日間、実習 2 日間)	100 名	1,288
⑦ フォローアップ研修			279
a) 実習指導者講習会	・1 研修 1 日間 1 回	70 名	

事業内容			予算(千円)
b) 医療安全管理者養成研修	・1研修1日間1回	30名	
3) 介護施設・在宅ケアの支援に関する事業【重3-2】			16,341
(1)訪問看護支援事業			15,837
①訪問看護推進協議会の開催	・3回		
②訪問看護入門プログラム	・1研修2日間1回	30名	
③訪問看護師養成講習会	・1研修eラーニング13単位 8日間(うち実習3日間) 1回40名		
④訪問看護ステーション管理者研修	・1研修5日間 (うち実習2日間)1回	10名	
	・1研修1日間1回	10名	
⑤訪問看護師人材育成研修	・1研修4日間 (うち実習2日間)1回	20名	
⑥訪問看護専門分野研修 (小児・重症心身障がい児・終末期・精神・難病)	・4研修5～6.5日間 (うち実習2日間)各1回	20名	
⑦訪問看護連携研修(再掲)			
⑧訪問看護ステーション管理者交流会	・1研修1日間1回		
(2)高齢者の権利擁護に関する教育研修			
①看護実務者研修	・1研修2日間1回	80名	504
4) 看護研究の充実に関する事業			1,178
(1)茨城県看護研究学会			1,178
5) 看護の質の保証の推進に関する事業			9,179
(1)委員会活動・地区活動による看護の質の保証			
①職能委員会活動			
a) 保健師職能委員会	・委員会・研修会・調査・情報収集		267
b) 助産師職能委員会	・委員会・研修会・調査・情報収集		472
c) 看護師職能委員会Ⅰ	・委員会・研修会・調査・情報収集		355
d) 看護師職能委員会Ⅱ	・委員会・研修会・調査・情報収集		277
②常任委員会活動			
a) 看護労働改善事業委員会	・委員会・調査・情報収集		439
b) 教育委員会	・委員会		392
c) 業務委員会	・委員会・調査・情報収集		367
d) 広報委員会	・委員会		284
e) 学会委員会	・委員会		215
f) 認定看護管理者教育運営委員会	・委員会		145
g) 医療・看護安全対策推進委員会	・委員会・調査・情報収集		419
h) 災害看護委員会	・委員会・調査・情報収集		327
③特別委員会活動			
a) 倫理審査委員会	・委員会		198
④地区活動			
a) 地区	各地区共通 ・地区委員会の開催 ・地区研修会の開催 ・地区会員の開催 ・地区意見交換会の開催 ・「まちの保健室」活動 ※常設・イベント ・地域活動への参加		3,834
⑤委員会企画研修			928
a) 保健師職能委員会企画研修	・ファシリテーションの基礎と 事例検討会の手法を学ぶ	・1研修1日間1回 30名	
b) 助産師職能委員会企画研修	・女性の健康支援(更年期) ・女性の健康支援 (思春期教育、メンタルヘルスケア) ・今さら聞けない母乳育児支援	・1研修1日間1回 40名 ・1研修1日間1回 40名 ・1研修1日間1回 40名	
c) 看護師職能委員会Ⅰ企画研修	・外来における在宅療養支援能力向上のための研修	・1研修1日間1回 40名	
d) 看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同企画研修	・食べる喜びをあきらめない食支援	・1研修1日間1回 50名	
e) 看護師職能委員会Ⅱ企画研修	・看取りのケア	・1研修1日間1回 100名	
f) 災害看護委員会企画研修(再掲)			
(2)医療・看護安全対策の推進			
①医療事故調査制度支援団体活動			
(3)看護基礎教育機関等との連携			212
①看護実践力を育成するための臨床と基礎教育の共同			
②実習生受け入れ(訪問看護・看多機)			

事業内容		予算(千円)
③看護教員継続研修	・1研修1日間1回	80名 212
(4)准看護師の資質向上のための支援	・1研修1日間1回	30名 48
6)図書室サービスの充実に関する事業		1,180
(1)図書サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・文献検索システムの運用 ・メディカルオンラインの運用 ・図書の貸出し ・郵送返却サービス ・文献複写サービス ・蔵書点検・所蔵目録 ・図書の購入 ・新刊図書案内 ・蔵書一覧ホームページ掲載 	

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業） [59,635千円]

事業内容		予算(千円)
1) 看護職の就業支援に関する事業		52,763
(1)ナースセンター事業【重2-3】		18,365
①無料職業紹介・就業相談	・月～金 9:00～17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く。)	
a) 就業斡旋		
b) 就業希望者に対する相談支援		
c) 看護職員確保及び定着促進に関する相談支援		
d) NCCSシステムによる求人・求職情報の登録・管理・支援及びデータ分析		
e) 求人・求職実態調査		
f) 看護相談委員会議の開催	・1回/年	
g) 関係機関との連絡調整、情報交換	・随時	
h) ナースセンター機能強化 ・多様なキャリア支援に対応する相談体制	・出張ナースバンクの強化	
②中央ナースセンターとの連携		
③ナースセンター事業の広報強化 ・ナースセンターだより・求人情報発行	<ul style="list-style-type: none"> ・2回発行 3,300部/回 ⇒イバラキーボックスへの掲載へ移行 ・随時更新 ・県内イベント等への貸し出し ・キャラクターを用いた啓発物品等の配布 	
・ナースセンターホームページの活用		
・ナースセンターキャラクター 「はびなちゃん」の活用		
・SNSの活用 (Twitter・Facebook・Instagram・YouTube)		
④ナースセンター運営委員会の開催	・2回/年	
⑤ナースセンター職員の質の向上	・他機関主催の研修	
(2)再就業支援事業		11,800
①カムバック支援セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・講義研修 3地域 各4日間 ・シミュレーション研修 1日間 3地域 (県央・県西・県南) ・実務研修 5日～10日間程度 	
②カムバック支援セミナー (フォローアップ研修)	・1回/年	
③看護職のセカンドキャリア支援 ・セカンドキャリア研修 ・プラチナナース活用に関する検討・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・1回/年 ・プラチナナース活用に向けた検討 	
④シミュレーション教育を活用した就業支援	・3回/年	
⑤基本的看護技術再研修 (輸液・採血コーナーの活用)	・月～金 9:00～17:00 (土、日、祭日、年末年始、夏季休暇を除く。)	
⑥潜在看護職員再就業推進事業研修	・試用研修 1か月以内 人数 8人程度	
(3)魅力ある職場づくり支援事業		6,904
①定着促進コーディネーター派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置 ・施設訪問 ・出前講座 ・派遣日数 年25回程度 	
②管理者等研修	・6テーマ 7回/年	
(4)健康で安全な職場 (ヘルシーワークプレイス) の実現に向けた支援【重2-1】	<ul style="list-style-type: none"> ・優良健康企業、団体の取り組み紹介 ・茨城カウンセリングセンターの活用 ・社会保険労務士の活用 ・訪問型ワークショップの開催 	
①健康で安全な職場 (ヘルシーワークプレイス) 普及のための研修		
②定着コーディネーターの活用推進		
(5)タスクシフト/タスクシェアの理解と促進【重2-2】		
①働き方改革について周知		
②地域で働く看護職への支援 ・医療的ケア児の生活支援に関わる看護職への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「看護におけるタスクシフト・タスクシェアの理解」企画、研修実施 ・医療的ケア児研修 (講義・演習) 	2,646

事業内容		予算(千円)
③看護補助業務の周知 ・ハローワーク、福祉人材センターとの連携	・看護補助者の業務紹介をハローワークと企画・ 企画・実施	
④看護補助者研修	・看護補助者研修企画・研修実施	143
(6)看護職員就業相談員派遣面接事業		314
①ハローワークとの連携強化	・ハローワーク 9 か所 48 回開催 ・連携事業 2 か所 水戸・土浦	
(7)看護師等届出制度普及事業	・届出制度の普及啓発強化 ・登録者への支援 ・看護学生への周知 ・ホームページ運営	3,015
(8)地域就業支援事業【重2-3】	・就職アドバイザー各週 2 日 2 名配置 ・4 地域(県西・ 県北・ 鹿行・ 県南) における就 業相談支援、求人施設の開拓 ・再就業支援研修企画、実施	9,576
2) 看護人材養成啓発に関する事業		3,968
(1)看護人材養成啓発		2,128
①一日看護体験事業	・1 回 / 年 ・ 県内の高等学校生徒対象 ・参加者進路状況調査	
②高等学校進路指導担当者会議	・1 回 / 年	
③看護の出前授業事業	・15 回程度 ・小中高等学校生に対しての看護の出前講座	
④いばらき看護職合同進学・就職説明会事業	・1 回 / 年	1,840
3) 看護職員人材確保支援に関する事業		2,904
(1)助産師活用推進事業の拡大	・助産師偏在の解消や助産実践能力向上のため の助産師出向支援	2,904

3 看護業務の調査委研究及び情報収集並びに制度の改善への提言に関する事業 (公益目的事業) [370 千円]

事業内容		予算(千円)
1) 看護業務の調査研究・情報収集に関する事業		220
(1)看護業務の調査研究・情報収集【重3-3】【重4-3】	・産業領域における保健師等の活躍促進に向け ての検討 ・保健師職能委員会(再掲) ・助産師職能委員会(再掲) ・看護師職能委員会Ⅰ(再掲) ・看護師職能委員会Ⅱ(再掲) ・看護労働改善事業委員会(再掲) ・業務委員会(再掲) ・医療・看護安全推進対策委員会(再掲)	220
2) 看護制度の改善への提言に関する事業		150
(1)茨城県・関係団体等への要望活動【重4-3】	・日本看護協会との連携 ・茨城県、政治団体等への要望書の提出 ・関連審議会等への意見反映	150
(2)茨城県・関係団体等との意見交換【重4-3】	・看護政策推進のための行政及び各関係団体と の意見交換	

4 健康相談、情報提供等による地域住民の健康と福祉に関する事業 (公益目的事業) [63,390 千円]

事業内容		予算(千円)
1) 健康相談・啓発等の事業		6,626
(1)まちの保健室事業【重3-1】	・地区における「まちの保健室」 (再掲) 7 地区 9 箇所 ・保健衛生会館における「まちの保健室」 ・健康相談(なんでも健康相談) (水)(木) 9:30~16:30 (土日祭日、お盆、年末年始除く) ・健康教育 ウィメンズヘルスカフェ、ヘルスチェック、 出前講座 等 ・認知症カフェ ・茨城県立医療大学学生地域看護実習受け入れ ・広報・周知(県内市町村への掲示物等)	1,377
(2)母子保健に関する事業		5,076
①母子保健センター運営事業		
a) 発達相談事業	・専門医師・心理専門員による発達相談 月 1 回 第 4 (月) 年間 12 回 ・心理専門員による個別指導 月 6 回 (年 72 回) ・電話相談 (9:30~17:00) *乳幼児の健康・子育てに関する相談、 *発達相談・個別指導の予約について	
b) 発達障害児の早期発見・発達支援推進研修	・担当者会議 年 1 回開催	

事業内容		予算(千円)
	・研修会 年1回開催 専門職に対する技術的支援を行い、スキルアップを図る。	
c) 市町村への巡回相談の実施	・年30回予定 ①日本臨床発達心理士会茨城県支部と連携 ②市町村のニーズに応え臨床心理士の派遣 ・延べ30回程度	
(3) ナースボランティア事業		173
2) 地域包括ケアシステム推進事業		
(1) 一般社団法人茨城県訪問看護事業協議会との連携	・茨城県訪問看護事業協議会と連携しながら、県内の地域包括ケアシステムを推進し、効果的・効率的な訪問看護の提供に貢献できる体制整備や地域で働く訪問看護師の支援を行う。	
3) がん対策推進強化事業		49,838
(1) いばらきがん患者トータルサポート事業	・「いばらき みんなのがん相談室」電話相談および面談 月～金 9:00～16:00 (8/13～8/15、12/29～1/3 除く) ・医療機関等との連携によるがん療養生活支援体制の促進 ・いばらきがん患者トータルサポート事業内容の広報 ・患者会支援 ・社会参加サポート事業 ・若年患者療養生活サポート事業 ・妊孕性温存療法等助成事業	
4) 広報啓発に関する事業【重4-2】		3,910
(1) 看護いばらき発行	・年4回発行	3,244
(2) 県民への広報強化		
① ホームページ運営	・一般県民及び看護職対象事業の広報	666
5) 「看護の心」普及啓発事業		2,176
(1) 看護の祭典 「看護の日、看護週間」記念事業 (県との共催)	・5/18 ザ・ヒロワ・シティ会館 ハイブリッド形式 (公式YouTubeでライブ配信)	2,176
6) 災害時の看護支援活動に関する事業		840
(1) 災害看護支援体制の充実		840
① 災害支援ナース登録の推進	・調査・情報収集(災害看護委員会)	
② 茨城県総合防災訓練への参加 ・茨城県との災害支援協定の運用	・災害支援活動傷害保険加入	
③ 水戸市との災害支援協定の運用		
④ JMAT茨城研修会への参画		
⑤ 日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練		
⑥ 災害パンデミック等に対する支援体制の強化【重4-4】	災害支援ナース研修に係る準備体制の検討	

5 地域ケアサービスを実施する訪問看護ステーション等の設置及び運営(公益目的事業) [283,524千円]

事業内容		予算(千円)
1) 訪問看護サポートセンター事業		
(1) 県央訪問看護サポートセンター事業	・各種相談への対応 ・窓口開設: 月～金(土、日、祭日、年末年始を除く。) ・訪問看護の広報、利用促進	
(2) 県南訪問看護サポートセンター事業		
2) 訪問看護ステーション等の設置及び運営に関する事業【重4-2】		283,524
(1) 土浦訪問看護ステーション運営事業		111,341
① 訪問看護事業	・年間延べ利用人員 1,800人	
② 居宅介護支援事業	・年間延べ利用人員 600人	
(2) 鹿嶋訪問看護ステーション運営事業		91,067
① 訪問看護事業	・年間延べ利用人員 1,320人	
② 居宅介護支援事業	・年間延べ利用人員 1,320人	
(3) 看護小規模多機能型居宅介護事業所 絆 ・訪問看護ステーション 絆運営事業		81,116
① 訪問看護ステーション 絆	・年間延べ利用人員 192人	
② 居宅介護支援事業	・年間延べ利用人員 500人	
③ 看護小規模多機能型居宅介護事業所 絆	・年間延べ利用人員 240人	
(4) 難病患者レスパイト支援事業	・協会立の3訪問看護ステーションにおいて、難病患者レスパイト支援事業を実施	

6 その他本会の目的を達成するために必要な事業(法人管理事業) [11,646千円]

事業内容		予算(千円)
1) 円滑な組織運営		
(1) 総会		7,530

事業内容		予算(千円)
①通常総会	・6/20 サ・ヒロワ・シティ会館	3,350
②職能集会	・1回	915
(2)理事会		
①理事会	・6回以上 ・iPadの運用開始	2,082
②常務理事会	・適宜	91
(3)その他諸会議		
①常任委員会委員長会議	・1回	74
②推薦委員会	・適宜	266
③選挙管理委員会	・適宜	77
④新理事オリエンテーション	・1回	52
(4)職員福利厚生		
①福利厚生事業	・水戸市勤労者福祉サービスセンター	291
②職員研修事業	・県関連団体研修、協会主催研修	330
(5)協会内防災対策の整備		
(6)教育環境の整備・拡充	・研修システム「マナブル」機能充実に向けた改修	
(7)諸費	・愛の募金など	2
2) 会員に対する福利厚生等事業【重 4-2】		1,513
(1)福利厚生事業		
①会員に対する情報提供及び意見収集体制の充実	・1回	514
②会員相互の親睦の促進	・1回(新年の集い)	342
③会員及び当協会関係者に対する慶弔見舞		
④茨城県看護協会会長表彰等事業	・看護協会会長表彰	537
(2)看護職賠償責任保険制度の加入促進・相談事業		
①医療安全・医療事故に係る相談対応		
②医療安全に係る情報提供等、医療事故予防啓発活動		
③看護職賠償保険制度への対応	・保険制度拡充に係る周知強化	
(3)新会員情報管理体制の普及啓発		120
3) 組織力強化		1,449
(1)会員の入会率50%以上の保持 【重 4-2】		
①会員不在、減少施設への訪問	①本会への要望、自施設課題の共有	
②会員福利厚生サービスの拡充	②福利厚生サービス企業等への営業・展開	
③広報活動の強化	③ ・公式 SNS の拡充、活用、周知、発信 ・メーリングリストの活用 ・賛助会員との交流(出店、参画、協賛)	
(2)看護政策を推進するための組織基盤の強化【重 4-1】		
①地区活動の充実及び連携強化、職能間の連携強化	①委員会の横のつながりを意識した委員会運営及び事務的作業の効率化を図る	
②医療関連団体等との看護政策の調査・検討	②地区会員から本会への要望等情報集	
③地区会員のネットワークづくりを推進・強化	③ SNS 等を活用したネットワークの構築	
4) 日本看護協会等との連携		110
(1)諸会議への参加		
①総会・職能別交流会	・6/11・12 幕張メッセ(千葉県)	
②理事会	・6回程度	
③法人会員会(中央)	・5回程度	
④代議員及び予備代議員研修会	・5/26PM(予定)	
⑤全国職能委員長会	・2回程度	
⑥地区別法人会員会・地区別職能委員長会	・10/9・10(茨城県)	
⑦都道府県看護協会政策責任者会議	・9/18	
⑧都道府県看護協会看護労働担当者会議	・7/17	
⑨会員情報管理情報交換会	・7/30	
⑩都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議	・1回程度	
⑪ナースセンター事業担当者会議	・4/16	
⑫都道府県看護協会図書室担当者研修会	・1回	
⑬都道府県看護協会広報担当役員会議	・1回程度	
⑭都道府県看護協会事務担当者会議	・11/17	
⑮都道府県看護協会危機管理担当者会議	・1回	
⑯全国看護基礎教育担当役員会議	・1回	
⑰医療事故調査制度に関する情報交換会	・1回	
⑱都道府県看護協会教育担当者会議	・1回	
⑲災害支援ナース派遣調整合同訓練	・1回程度(3日間)	
(2)会員登録に関する業務		
5) 施設の貸与に関する事業		1,044
(1)茨城県保健衛生会館貸与事業	・茨城県看護連盟、茨城県理学療法士会ほか3団体に貸与	
(2)「看護研修センター」研修室の貸与	・関係団体等の研修等に貸与	1,044

■ 収支予算書

(単位：円)

科 目	当年度予算	前年度予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①特定資産運用益	5,000	5,000	0
特定資産受取利息	5,000	5,000	0
②受取入会金	13,800,000	13,800,000	0
受取入会金	13,800,000	13,800,000	0
③受取会費	82,000,000	81,600,000	400,000
受取会費	81,600,000	81,600,000	0
受取賛助会費	400,000	0	400,000
④事業収益	523,362,030	510,834,000	12,528,030
日本看護協会業務委託事業収益	2,984,030	0	2,984,030
茨城県委託事業収益	143,720,000	143,599,000	121,000
受講料	44,298,000	42,834,000	1,464,000
介護保険報酬	222,910,000	212,767,000	10,143,000
医療保険報酬	101,608,000	103,090,000	△ 1,482,000
利用料	7,842,000	8,544,000	△ 702,000
⑤受取助成金	10,503,000	9,725,000	778,000
日本看護協会助成金	10,503,000	9,725,000	778,000
⑥受取補助金等	4,218,380	4,147,380	71,000
茨城県補助金収益	314,000	243,000	71,000
受取地方公共団体補助金振替額	2,841,422	2,841,422	0
受取民間補助金振替額	1,062,958	1,062,958	0
⑦受取寄付金	251,860	251,860	0
受取寄付金振替額	251,860	251,860	0
⑧雑収益	14,110,052	19,957,000	△ 5,846,948
受取利息	30,000	30,000	0
雑収益	14,080,052	19,927,000	△ 5,846,948
経常収益計	648,250,322	640,320,240	7,930,082
(2)経常費用			
①事業費	613,296,274	625,357,542	△ 12,061,268
役員報酬	19,807,540	20,486,886	△ 679,346
給料手当	207,030,570	213,994,315	△ 6,963,745
臨時雇賃金	74,832,322	74,756,810	75,512
退職慰労金	1,096,833	1,096,833	0
退職給付費用	9,247,998	7,862,208	1,385,790
福利厚生費	47,488,762	44,329,654	3,159,108
報償費	32,179,000	35,520,000	△ 3,341,000
会館運営費	8,736,231	8,838,273	△ 102,042
会議費	665,000	643,000	22,000
旅費交通費	10,516,740	12,674,000	△ 2,157,260
医療材料費	798,000	1,165,000	△ 367,000
通信運搬費	15,081,994	15,278,019	△ 196,025
減価償却費	18,816,256	23,166,863	△ 4,350,607
消耗什器備品費	1,000,891	1,438,000	△ 437,109
消耗品費	12,219,303	11,864,953	354,350
修繕費	2,409,000	2,312,000	97,000
印刷製本費	17,675,656	16,365,503	1,310,153
燃料費	3,410,640	4,161,700	△ 751,060
光熱水料費	8,613,731	8,797,417	△ 183,686
賃借料	55,576,437	54,045,713	1,530,724
保険料	2,161,705	2,156,428	5,277
租税公課	11,354,115	11,248,062	106,053
広告宣伝費	3,674,000	2,160,000	1,514,000

科 目	当年度予算	前年度予算	増 減
支払負担金	34,964,000	35,867,000	△ 903,000
支払手数料	4,176,000	4,689,355	△ 513,355
委託費	7,371,000	7,929,000	△ 558,000
食糧費	2,363,000	2,481,000	△ 118,000
雑費	29,550	29,550	0
②管理費	17,602,432	16,438,107	1,164,325
役員報酬	2,643,060	2,815,953	△ 172,893
給料手当	3,546,931	3,445,929	101,002
臨時雇賃金	16,590	2,525	14,065
退職慰労金	99,167	99,167	0
退職給付費用	207,703	180,792	26,911
福利厚生費	24,715	17,788	6,927
報償費	231,000	0	231,000
会館運営費	270,195	273,348	△ 3,153
会議費	917,000	1,144,600	△ 227,600
旅費交通費	1,354,580	1,352,000	2,580
通信運搬費	1,226,309	918,860	307,449
減価償却費	248,400	248,064	336
消耗什器備品費	2,907	0	2,907
消耗品費	721,147	453,547	267,600
修繕費	3,000	0	3,000
印刷製本費	1,467,604	1,141,257	326,347
燃料費	360	300	60
光熱水料費	186,610	184,868	1,742
賃借料	1,658,044	1,667,756	△ 9,712
保険料	18,135	17,292	843
諸謝金	1,991,740	2,110,000	△ 118,260
租税公課	216,785	91,566	125,219
支払手数料	426,000	202,045	223,955
委託料	54,000	0	54,000
負担金	70,000	70,000	0
雑費	450	450	0
經常費用計	630,898,706	641,795,649	△ 10,896,943
評価損益等調整前当期經常増減額	17,351,616	△ 1,475,409	18,827,025
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	17,351,616	△ 1,475,409	18,827,025
2. 經常外増減の部			
(1)經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2)經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	17,351,616	△ 1,475,409	18,827,025
一般正味財産期首残高	574,806,750	576,282,159	△ 1,475,409
一般正味財産期末残高	592,158,366	574,806,750	17,351,616
II 指定正味財産増減の部			0
一般正味財産への振替額	△ 4,508,740	△ 4,156,240	△ 352,500
当期指定正味財産増減額	△ 4,508,740	△ 4,156,240	△ 352,500
指定正味財産期首残高	118,056,058	122,212,298	△ 4,156,240
指定正味財産期末残高	113,547,318	118,056,058	△ 4,508,740
III 正味財産期末残高	705,705,684	692,862,808	12,842,876

■ 収支予算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
①特定資産運用益	4,300	100	600	5,000
特定資産受取利息	4,300	100	600	5,000
②受取入金	11,868,000	276,000	1,656,000	13,800,000
受取入金	11,868,000	276,000	1,656,000	13,800,000
③受取会費	70,520,000	1,640,000	9,840,000	82,000,000
受取会費	70,176,000	1,632,000	9,792,000	81,600,000
受取賛助会費	344,000	8,000	48,000	400,000
④事業収益	520,378,000	0	2,984,030	523,362,030
日本看護協会業務委託事業収益	0	0	2,984,030	2,984,030
茨城県委託事業収益	143,720,000	0	0	143,720,000
受講料	44,298,000	0	0	44,298,000
介護保険報酬	222,910,000	0	0	222,910,000
医療保険報酬	101,608,000	0	0	101,608,000
利用料	7,842,000	0	0	7,842,000
⑤受取助成金	10,003,000	500,000	0	10,503,000
日本看護協会助成金	10,003,000	500,000	0	10,503,000
⑥受取補助金等	4,218,380	0	0	4,218,380
茨城県補助金収益	314,000	0	0	314,000
受取地方公共団体補助金振替額	2,841,422	0	0	2,841,422
受取民間補助金振替額	1,062,958	0	0	1,062,958
⑦受取寄付金	251,860	0	0	251,860
受取寄付金振替額	251,860	0	0	251,860
⑧雑収益	4,148,000	9,662,052	300,000	14,110,052
受取利息	30,000	0	0	30,000
雑収益	4,118,000	9,662,052	300,000	14,080,052
経常収益計	621,391,540	12,078,152	14,780,630	648,250,322
(2)経常費用				
①事業費	607,389,003	5,907,271		613,296,274
役員報酬	19,634,662	172,878		19,807,540
給料手当	206,220,115	810,455		207,030,570
臨時雇賃金	74,727,037	105,285		74,832,322
退職慰労金	1,089,317	7,516		1,096,833
退職給付費用	9,200,839	47,159		9,247,998
福利厚生費	47,325,569	163,193		47,488,762
報償費	32,179,000	0		32,179,000
会館運営費	8,475,046	261,185		8,736,231
会議費	659,000	6,000		665,000
旅費交通費	10,292,055	224,685		10,516,740
医療材料費	798,000	0		798,000
通信運搬費	13,971,326	1,110,668		15,081,994
減価償却費	18,520,046	296,210		18,816,256
消耗什器備品費	697,790	303,101		1,000,891
消耗品費	11,519,385	699,918		12,219,303
修繕費	2,405,800	3,200		2,409,000
印刷製本費	17,136,012	539,644		17,675,656
燃料費	3,396,256	14,384		3,410,640
光熱水料費	8,433,341	180,390		8,613,731
賃借料	55,462,915	113,522		55,576,437
保険料	2,143,514	18,191		2,161,705
租税公課	11,131,908	222,207		11,354,115
広告宣伝費	3,542,000	132,000		3,674,000
支払負担金	34,964,000	0		34,964,000

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
支払手数料	3,751,000	425,000		4,176,000
委託費	7,371,000	0		7,371,000
食糧費	2,313,000	50,000		2,363,000
雑費	29,070	480		29,550
②管理費			17,602,432	17,602,432
役員報酬			2,643,060	2,643,060
給料手当			3,546,931	3,546,931
臨時雇賃金			16,590	16,590
退職慰労金			99,167	99,167
退職給付費用			207,703	207,703
福利厚生費			24,715	24,715
報償費			231,000	231,000
会館運営費			270,195	270,195
会議費			917,000	917,000
旅費交通費			1,354,580	1,354,580
通信運搬費			1,226,309	1,226,309
減価償却費			248,400	248,400
消耗什器備品費			2,907	2,907
消耗品費			721,147	721,147
修繕費			3,000	3,000
印刷製本費			1,467,604	1,467,604
燃料費			360	360
光熱水料費			186,610	186,610
賃借料			1,658,044	1,658,044
保険料			18,135	18,135
諸謝金			1,991,740	1,991,740
租税公課			216,785	216,785
支払手数料			426,000	426,000
委託料			54,000	54,000
負担金			70,000	70,000
雑費			450	450
経常費用計	607,389,003	5,907,271	17,602,432	630,898,706
評価損益等調整前当期経常増減額	14,002,537	6,170,881	△ 2,821,802	17,351,616
基本財産評価損益等	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	14,002,537	6,170,881	△ 2,821,802	17,351,616
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	3,000,667	△ 3,000,667	0	0
当期一般正味財産増減額	17,003,204	3,170,214	△ 2,821,802	17,351,616
一般正味財産期首残高	116,818,971	13,959,626	444,028,153	574,806,750
一般正味財産期末残高	133,822,175	17,129,840	441,206,351	592,158,366
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	0	0	△ 4,508,740	△ 4,508,740
当期指定正味財産増減額	0	0	△ 4,508,740	△ 4,508,740
指定正味財産期首残高	0	0	118,056,058	118,056,058
指定正味財産期末残高	0	0	113,547,318	113,547,318
III 正味財産期末残高	133,822,175	17,129,840	554,753,669	705,705,684



■令和7年度 日本看護協会会長表彰者

看護師 秋 葉 はつひ ゆうあい訪問看護ステーションゆめ
 看護師 池 袋 昌 子 茨城キリスト教大学
 看護師 小 室 万左子 ひたちなか総合病院

■令和7年度 優良看護職員茨城県知事表彰者

保健師 新 山 絹 子 茨城県保健医療部疾病対策課
 保健師 塙 清 美 茨城県保健医療部薬務課
 助産師 加司山 良 子 水戸赤十字病院
 看護師 佐 川 朋 美 茨城県立こころの医療センター
 看護師 平 根 ひとみ 筑波メディカルセンター病院

■令和7年度 優良看護職員茨城県看護協会会長表彰者

保健師 岡 野 里 美 水戸済生会総合病院	看護師 菅 原 多栄子 東京医科大学茨城医療センター
保健師 龜 山 千 里 総合病院土浦協同病院	看護師 鈴 木 直 子 日立総合病院
助産師 木 村 千 代 JAとりで総合医療センター	看護師 須 原 昌 代 土浦訪問看護ステーション
看護師 青 木 由 美 城西病院	看護師 田 中 直 美 茨城県西部メディカルセンター
看護師 秋 葉 泰 子 水戸赤十字病院	看護師 田 中 由美子 筑波学園病院
看護師 安 見 律 子 茨城県立中央看護専門学校	看護師 寺 門 さおり 常陸大宮済生会病院
看護師 飯 島 洋 子 筑波記念病院	看護師 中 里 和 美 筑西診療所
看護師 池 田 千佐子 茨城西南医療センター病院	看護師 中 島 道 子 神栖済生会病院
看護師 石 井 悦 子 土浦看護専門学校	看護師 中 辻 香邦子 筑波メディカルセンター病院
看護師 猪 野 美 穂 茨城県立こども病院	看護師 根 本 幸 代 東京医科大学茨城医療センター
看護師 江野澤 志 鶴 小山記念病院	看護師 根 本 広 子 ひたちなか総合病院
看護師 江 幡 美津子 日立総合病院	看護師 橋 本 直 子 筑波メディカルセンター病院
看護師 江 本 美 雪 三岳荘小松崎病院	看護師 馬 場 玲 子 筑波大学附属病院
看護師 大 淵 恵 美 総合病院水戸協同病院	看護師 原 田 靖 子 茨城県立中央病院
看護師 小河原 幸 子 協和中央病院	看護師 福 恵 節 子 訪問看護ステーションうしく
看護師 金 田 まり子 ゆうあい訪問看護ステーションゆめ	看護師 福 嶋 隆 城西病院
看護師 菊 池 美智子 アイビークリニック	看護師 細 川 芳 江 筑波記念病院
看護師 倉 持 真 枝 いちはら病院	看護師 堀 江 由樹子 水戸中央病院
看護師 後 藤 尋 子 ひたちなか総合病院	看護師 丸 山 智 子 水戸赤十字病院
看護師 小 林 礼 子 小山記念病院	看護師 三 橋 真理子 協和中央病院
看護師 小松崎 あづさ 水戸済生会総合病院	看護師 山 田 緑 筑波大学附属病院
看護師 佐 藤 恵 子 きぬ医師会病院	看護師 山 中 皇 子 きぬ医師会病院
看護師 柴 山 直 子 茨城県立中央病院	准看護師 柴 山 ひとみ アイビークリニック

※氏名・職種・所属先は令和7年3月末日時点です。

※法人名は省略させていただきます。